

坂井市水道料金等の改定に関するパブリックコメント募集の結果

1. 意見募集期間：令和5年5月19日（金）～令和5年6月5日（月）
2. 意見の提出者数及び件数
 - (1) 意見の提出者数 21人
 - (2) 意見の提出件数 21件
3. 提出された意見の内容及び市の回答

No	意見の内容	市の回答
1	<p>市民にどのような周知を行っていますか。 令和6年度から改定した場合、将来的に更なる改定は予期されますか。 どこまで先を見据えていますか。</p>	<p>これまでの検討委員会の内容については市ホームページで公開しております。また、条例の改定後に市ホームページや広報誌などを利用し市民の皆さまへ周知させていただきます。水道料金等検討委員会では、今後10年の財政シミュレーションを提示させていただきました。次回の改定については未定となっております。</p>
2	<p>水道管の耐用年数が経過したことで、ここ数年、全国的に漏水事故などが発生していると認識しています。下水道の設備も同様に老朽化が進むことで思いがけない事故につながる可能性があります。</p> <p>近年、料金値上げのニュースをよく見かけたことがありましたが、坂井市においては合併からまだ一度も値上げをしていなかったことを知り驚きました。</p> <p>蛇口をひねれば安全な水が出てきて、下水道があることで清潔な生活が来ている。これがあたりまえになっていることで、料金改定に抵抗を感じる人がほとんどだと思いますが、計画的に管の交換や施設整備をしていくこと、その財源を準備しておくことはとても重要なことではないでしょうか。</p> <p>人口減少や節水機器の普及で使用量が減少し、料金収入が減っていることを考えると、今後も継続して安定した事業をおこなうには適正な範囲での料金改定は不可避だと思います。ただ、料金改定だけに頼ることなく、費用抑制もお願いしたいです。</p>	<p>近年、全国的に上下水道施設の老朽化による重大事故が発生しております。坂井市ではまだ重大事故は発生しておりませんが、上下水道施設で耐用年数が経過した施設や耐震化が必要な施設が多くあります。今後も市民の皆さまへ「安心・安全・安定」した水道水の供給や適正な維持管理に基づく下水道を提供するためには計画的な工事の実施が必要となります。今回の料金改定は施設の更新に必要な財源の確保が目的となります。</p> <p>また、上下水道事業では上下水道業務の包括的業務委託や工事費への国庫補助金等の財源確保により費用抑制を続けており、今後も継続して更なる費用抑制に努めてまいります。</p>
3	<p>上下水道料金に関し、経営で不足する分は、料金を上げて補填することは理解できます。しかし、改定の理由で「人口減少で水需要の減少」「施設の老朽化対策」とあり、これはもっと前からわかっていたはず。市民の負担を考えるならもっと早く改定準備をし、平準化すべきでした。</p> <p>現状、信じていたほどの電気料の大幅値上げが始まり、水道料金とともに家計に大きく影響します。無理が高じて、料金を払ってくれなければ意味がありません。</p> <p>今後も定期的に緩和措置も含めた料金議論を行っていただきたい。そして料金収入で不足するときは、暫定的にでも税金等市の財布を活用した方が良いと思います。</p>	<p>合併後、市民の皆さまへなるべくご負担をおかけしないよう経営努力を続け上下水道料金を据え置いておりました。しかしながら今後必要となる施設の避けて通れない老朽化対策などにかかる費用は莫大であり経営努力だけで補うことはできないため、今回の料金改定が必要となりました。</p> <p>今回の料金改定は電気料金などの生活に必要な公共料金が高騰するなかの改定であります。施設を維持更新していくためには、どうしても必要な料金改定でございますのでご理解願います。</p> <p>税金等の一般財源を繰入することについては、現在も数億円単位で繰入してもらい資金不足がおきないように、公営企業会計として安定させております。通常、上下水道事業は公営企業のため公営企業法により独立採算制が原則となっております。必要以上の一般会計の繰入は、一時的には経営を助けることとなりますが、恒久的に繰入することは、独立採算制を逸脱することとなります。そのため財源の不足はまず料金に求めることになることをご理解願います。</p>

No	意見の内容	市の回答
4	いろいろなものが値上がりしているのに、公共料金まで値上げされると生活が厳しい。このタイミングでないといけなのか。もう少し先延ばしにできないか。	今後の人口の減少や施設の老朽化、災害への備えなどに対し、将来への負担を先送りせずに対応し、安定した上下水道事業を続けていくためには現時点での料金の見直しが必要だと考えております。市民の皆様には、ご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。
5	水道は毎日の生活に必要なものであり、その値上げには非常に抵抗感があります。水道施設の老朽化対策にお金がかかるのはわかりましたが、料金改定以外で対応はできないのですか。このコロナや物価高で苦しんでいる市民や中小企業へも目を向けてください。	税金等の一般財源を繰入することについては、現在も数億円単位で繰入してもらい資金不足がおきないように、公営企業会計として安定させております。通常、上下水道事業は公営企業のため公営企業法により独立採算制が原則となっています。必要以上の一般会計の繰入は、一時的には経営を助けることとなりますが、恒久的に繰入することは、独立採算制を逸脱することとなります。そのため財源の不足はまず料金に求めることになることをご理解願います。
6	料金改定について初めて知りましたが市民説明会などは行ったのですか。値上げと簡単に言いますが市民に負担を求める前に市では経費削減や料金の滞納を減らすなどの努力はしているのですか。	市民説明会はまだ行っておりませんが、検討委員会の答申でもあるように条例改正後に速やかに市民説明会を行う予定です。これまで市民の皆さまへご負担をおかけしないよう上下水道業務の包括的業務委託や工事費への補助金等の財源確保により費用抑制を続けています。収納対策もあわせて実施しており料金の収納率も約99%と滞納している方にも適切に対応しております。
7	私は年金だけで生活しています。ただでさえ年金が少なく生活が苦しいので水道料金まで値上げされては暮らしていけません。料金改定は考え直してください。	今回の料金改定は電気料金や食料品などの生活に必要なものが高騰するなかの改定であります。施設を維持更新していくためには、どうしても必要な料金改定でございますのでご理解願います。なお、低所得者への配慮については、今後検討したいと考えております。
8	料金を上げる前に、人口減少が進む中、施設の統廃合も含めて経費の削減は実施されているのでしょうか。	現在、上下水道業務の包括的業務委託や工事費への補助金等の財源確保により費用抑制を続けています。施設の統廃合は行っておりませんが今後の施設の更新時には施設の適正規模への変更や省エネルギー化の検討は必要と考えております。
9	この冬に水道料金を安くしていたのに、なぜ値上げになるのですか。	令和5年2月、3月に実施した水道料金の基本料金の減免については国からの地方創生交付金を財源として新型コロナウイルス感染症・物価高対策として実施いたしました。今回の料金改定は、今後も市民の皆さまへ「安心・安全・安定」した水道水の供給や適正な維持管理に基づく下水道を提供するためには計画的な工事の実施が必要となり、その施設の更新に必要な財源の確保が目的となります。
10	この物価高騰の社会情勢の中で上下水道料金の値上げは待ったほうがいい。	今回の料金改定は電気料金などの生活に必要な公共料金が高騰するなかの改定であります。施設を維持更新していくためには、どうしても必要な料金改定でございますのでご理解願います。なお、低所得者への配慮については、今後検討したいと考えております。
11	全体に負担を求めるのではなく儲かっている企業などに負担してもらえばよい。	今回の料金改定では公平性の観点から使用者の皆様へ現在より一律に20%の負担増をお願いすることについてご理解をお願いします。
12	近所にまだ下水道に入っていない人がいます。そんな人たちに下水道を使ってもらえば収入が増えるのでは。	下水道接続者が増えれば下水道使用料収入は増えることや公衆衛生の観点からも下水道接続は重要であることから市では下水道への接続促進活動は毎年継続して実施しております。
13	自分の値上げ後の料金を見てみたら、月に1,000円も値上げになることに驚いています。市はたかが1,000円ぐらいと思うかもしれませんが、いろいろなものが値上げされている中で、毎日の買い物も1円でも安いものをと考えて生活しています。これではがんばって節約した分も水道料金に消えてしまいます。料金改定に反対です。	今回の料金改定は電気料金や食料品などの生活に必要なものが高騰するなかの改定であります。施設を維持更新していくためには、どうしても必要な料金改定でございますのでご理解願います。なお、低所得者への配慮については、今後検討したいと考えております。
14	施設が老朽化しているとのことですが今使っている水道水の水質は大丈夫なのでしょうか。	「安全・安心・安定」した水道水を提供するために、継続的な管理をしており、水道法に基づく水質基準を満たした水道水を市民の皆様へ供給しております。

No	意見の内容	市の回答
15	<p>施設や上下水道管の老朽化が進んでいて、安定した水道水の供給などが必要なのはよくわかりますが、以前からわかっていたことではないですか。物価が高騰して電気料や他のものも値上げしている中、急に20%の値上げは本当に必要なのでしょうか。今まで、経営効率化や経費削減など経営努力は行っているのでしょうか。具体的な取組の説明が必要だと思います。</p>	<p>合併後、市民の皆さまご負担をおかけしないよう経営努力を続け上下水道料金を据え置いております。しかしながら施設の老朽化対策は避けて通れなく、その費用は莫大であり経営努力だけで補うことはできないため、今回の料金改定が必要となりました。今回の料金改定は電気料金などの生活に必要な公共料金が高騰するなかの改定であります。施設を維持更新していくためには、どうしても必要な料金改定でございますのでご理解願います。また、上下水道事業では上下水道業務の包括的業務委託や工事費への国庫補助金等の財源確保により費用抑制を続けており、今後も継続して更なる費用抑制に努めてまいります。</p>
16	<p>水道水はどこの水を使っているのですか。川の水とかを使っているならそんなに費用はかからなと思うのですが。どこに費用がかかっているのですか。</p>	<p>坂井市の水道水は龍ヶ鼻ダムを水源とした竹田川にある福井県水道用水から約80%を購入し、残り20%を自己水源の井戸から取水しています。川の水や地下水をそのまま水道水として供給することはできませんので塩素などによる殺菌などを行っております。またご家庭へ水道水を供給するための管路も必要になります。</p>
17	<p>値上げするなら生活が厳しい人への補助などが必要だ。</p>	<p>生活困窮者への支援については、今後検討したいと考えております。</p>
18	<p>私達は食料品や電気代も値上がりして生活が厳しい。そんな中で市役所の公共料金まで値上げするのは市民の生活を考えるとどうい思えません。今までの料金でこれまでやって来たのだから値上げせずにやっていけないのではないですか。</p>	<p>今後の人口の減少や施設の老朽化、災害への備えなどに対し、将来への負担を先送りせずに対応し、安定した上下水道事業を続けていくためには現時点での料金の見直しが必要だと考えております。市民の皆様には、ご負担をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
19	<p>配水場や配水管など、ライフラインである水道施設の老朽化対策はいずれも早急な対応が求められている。「料金改定の理由」に「施設の老朽化対策に費用が必要」とあり、「10年間で104億円」との試算がしめされているが、市の限られた予算の中でどうやって進めて行くのか。</p>	<p>老朽化対策の費用については、料金改定による料金収入の増加分のほかに国庫補助金や起債の利用により確保する予定です。</p>
20	<p>市役所は生活でどうしても使わないといけない上下水道で収入を増やそうとしているのではないのか。税金が足りない分を取りやすい上下水道料金で補てんをしようとしているのではないのか。</p>	<p>上下水道会計は独立採算制となっており、上下水道料金収入は上下水道事業の運営や施設の維持管理・更新事業の財源としてのみ使用することができます。今回の料金改定は老朽化した施設の更新や耐震化の財源を確保することが目的となります。</p>
21	<p>老朽化した施設などの紹介など市民向けの説明をもっとしっかりした方が値上げに納得できる人が増えると思うのですが。施設が古くなっていると言われても今も水は普通にじゃ口から出てきて使えるので実感がありません。</p>	<p>今後、市民の皆様へは広報や住民説明会を通じて施設の現状を説明していきたいと考えております。</p>